

# YOUNG GUITAR

Extra  
21



ジョージ・リンチ・スカイブルーの  
新譜エッセンスが  
アスターでさる6CDを発売

豪華解説とアワード・マイク・カイドの  
カラースコアを4曲掲載!  
「Unchain The Night」  
「It's Not Love」  
「Wicked Sensation」  
「River Of Love」

# GEORGE LYNCH Vol.2

ヤング・ギター[エクストラ]～ジョージ・リンチ実業 Vol.2～

CD+DVD 1,600円



pic : William Haines

# Chapter 1

CD Track No. 1 → CD Track No. 15

## ジョージ・リンチ奏法の エッセンスが凝縮された エクササイズ・フレーズ集

Chapter 1 では、ジョージ・リンチ奏法ならではの  
フラッシーなギター・スタイルを体感してもらうべく、  
リフ/コード・ワーク/ソロといった  
各プレイ・タイプにおける特徴的なフレージングに  
基づいてエクササイズ譜例を用意してみた。  
付録CDのデモ音源を参考にしながら、  
インスピライアに富んだ“巨匠”スタイルの  
完全攻略を目指して欲しい。

Chapter 1 (Ex-1～Ex-12) の譜例解説は付録 CD の Track No.1～15 に連動しています。それぞれのトラック内容は以下の通りです。各自のニーズとレヴェルに合わせて譜面とリンクさせながら活用してください。

※CD音源で聴けるEx-1～Ex-12は半音下げチューニングでプレイしています。

### 各エクササイズ・フレーズのサンプル・トラック



リフ・エクササイズ Ex-1 の例題音源  
(ノーマル・テンポ)



リフ・エクササイズ Ex-2 の例題音源  
(ノーマル・テンポ)



リフ・エクササイズ Ex-3 の例題音源  
(ノーマル・テンポ)



リフ・エクササイズ Ex-4 の例題音源  
(ノーマル・テンポ)



リフ・エクササイズ Ex-5 の例題音源  
(ノーマル・テンポ)



ソロ・エクササイズ Ex-6 の例題音源  
(ノーマル・テンポ)



ソロ・エクササイズ Ex-7 の例題音源  
(ノーマル・テンポ)



ソロ・エクササイズ Ex-8 の例題音源  
(ノーマル・テンポ)



ソロ・エクササイズ Ex-9 の例題音源  
(ノーマル・テンポ)



ソロ・エクササイズ Ex-10 の例題音源  
(ノーマル・テンポ)



ソロ・エクササイズ Ex-10 の例題音源  
(スロー・テンポ)



ソロ・エクササイズ Ex-11 の例題音源  
(ノーマル・テンポ)



ソロ・エクササイズ Ex-11 の例題音源  
(スロー・テンポ)



ソロ・エクササイズ Ex-12 の例題音源  
(ノーマル・テンポ)



ソロ・エクササイズ Ex-12 の例題音源  
(スロー・テンポ)

# RIFF exercise I

Ex-1の5弦開放はペダルとしての持続音なので、その他の音をアクセント（強拍）でプレイするようにしよう。の中でも4弦7fのシンコペーションと2、4小節3拍目の4弦5fは特に強めにピッキングすること。さらに、2小節3～4拍目にある中指でのスライドがモタらない

ように気を付けよう。

Ex-2は、パワー・コードのスライド後に3弦の音が消えてしまわないよう押弦を確実に！ 3小節目はadd9の9thに相当する2弦3fまで充分強くピッキングしつつ、ミュートが不安定になりがちな1弦はピッキングしないこと。

### Ex-1 5弦開放を巧みに絡ませた単音リフ・エクササイズ

CD Track No.1 ノーマル・テンポ

(全弦半音下げチューニング)

### Ex-2 add9の活用で巨匠テイストを醸し出すリフ・エクササイズ

CD Track No.2 ノーマル・テンポ

(全弦半音下げチューニング) S



## ***RIFF exercise II***

CD CD  
Track No. Track No.  
3 4

Ex-3は、まず16分のシャッフル・リズムに身体を順応させることが肝心だ。3連符に近いくらいまでハネてしまうと、重いグルーヴ感が出せないぞ。8小節目ではH&Pではなく、あえてスライドを使うのがジョージ流となる。その連続プレイ部分では正確な符割に則った弾き

こなしを目指そう！

Ex-4は、2小節目でも1小節目の6～4弦の和音を鳴らし続けてこそ、ハイ・テンションな響きが得られるが、5弦5fを離さずに中指でジョイントするのは意外にも大困難。2、3弦を人差指にすると楽だが…。

### Ex-3 連続複弦スライド部分に要注意のリフ・エクササイズ

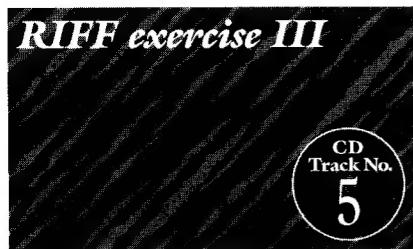
CD Track No.3 ノーマル・テンポ

(全弦半音下げチューニング)

#### Ex-4 運指面に難ありのクリーン・アルペジオ・リフ・エクササイズ

CD Track No.4 ノーマル・テンポ

(全弦半音下げチューニング)



Ex-5の1小節目は1弦8fを押された状態で、2 & 3弦がきれいに鳴り続けているかが最大のポイント。単なるストレッチでは2弦開放に触れてしまうので、人差指を十分に立てて3弦4fを押さえなくてはいけない。よほど小柄で手の小さい人以外は、ストレッチの訓練次第で克服可能なはず。どうしても指定の運指では難しい場合は、3弦4fの代わりに4弦9fを使う手もある。

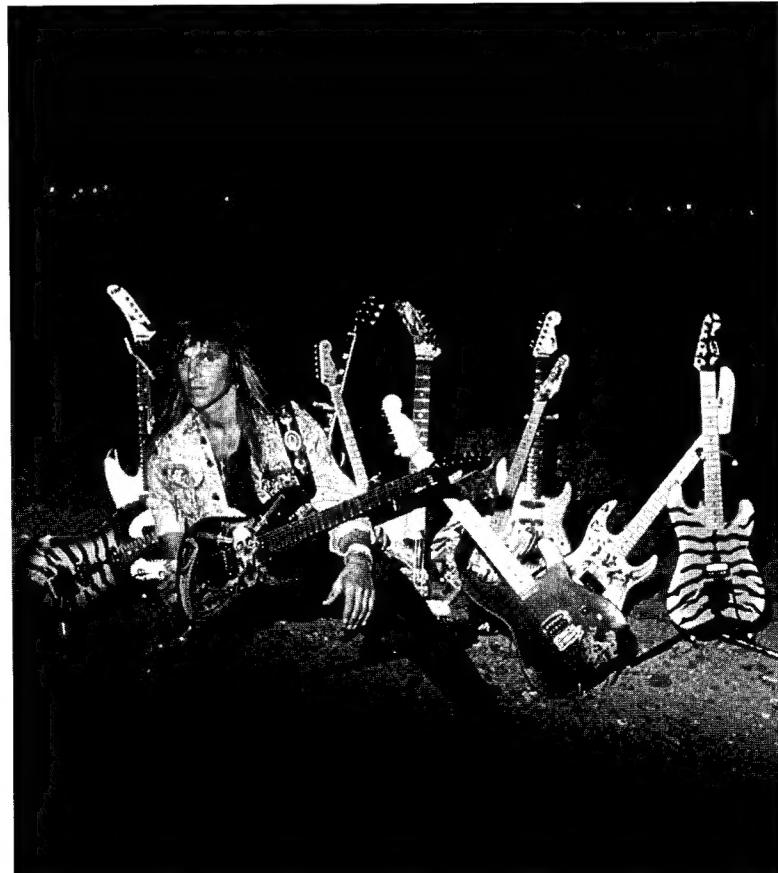
ありだが、そうすると右手のピッキング面に難を生じるかも…。

ピッキングはエコノミー…と言いたいところだが、ジョージ流に則れば、ここはオルタネイトとなる。全体にアルペジオだが、ソフトなピッキングでは単なる和音のようなサウンドになってしまう。総て軽めのアクセント…ぐらいの気持ちで1音1音のアタックをクリアに出そう。

### Ex-5 異弦同音を絡めたアルペジオ・リフ・エクササイズ

CD Track No.5 ノーマル・テンポ

(全弦半音下げチューニング)



pic: William Hames



Ex-6は2本弦上でのコード・アルペジオ・フレーズ。1、3小節目のようにジョイントで押さえる部分は、2音が同時に鳴って和音にならないように人差指の先端で4弦を押さえて、腹の部分で3弦をミュートする状態と、人差指の腹で3弦を押さえて、その先端を軽く浮かせて4弦をミュートする状態を素速く切り替えよう。

2小節目のような場合も、各音を発音し終わったら次の音をピッキングすると同時にミュートして、1音1音をクリアに鳴らすことが大切だ。エコノミー・ピッキング練習用エクササイズにもなるフレーズだが、ここもやはりオルタネイトで弾き切るのがジョージ流となる。エコノミーとはグルーヴ感が一味違うはずだ。

### Ex-6 コード・トーンで構成されたソロ・エクササイズ

CD Track No.6 ノーマル・テンポ

(全弦半音下げチューニング)

この楽譜は、2本弦上でのコード・アルペジオ・フレーズを示す。音名g、Bm、A/C#、Dが示されている。下部には手の動き（人、小、中、大）が示されている。

この楽譜は、2本弦上でのコード・アルペジオ・フレーズを示す。音名g、Em、Bm、A/C#が示されている。下部には手の動き（人、小、中、大）が示されている。

この楽譜は、2本弦上でのコード・アルペジオ・フレーズを示す。音名D、Edim、Hが示されている。下部には手の動き（人、小、中、大）が示されている。



まずはEx-7のリズムだが、アクセントが総て2拍3連の裏の感覚になっている点に注目。2拍単位の「ツタツタツタ」という感覚を延々とキープできるようになるまでリズムを聴き込もう。全体にストレッチとなるが、人差指で5fを押さえたまま総てを弾き切るような練習が効果的だろう。2小節目のヴィブラートもほぼそのままのフォームで掛けるわけだ。

Ex-8の前半3小節はEx-7とほぼ同じ。4小節1、2拍目は4弦9fを3弦4fに置き換えても

同じメロディーなのだが、この方がフレーズの流れが圧倒的に良い。難易度よりも音楽性やサウンドを優先するのがジョージ流のアプローチなのだ。5小節目からは、ディミニッシュ・アルペジオをスキッピングでプレイ。1、2拍目のパターンのまま上昇していかないところがミソ。7小節目1弦22fの1音及び1音半チョーキングは薬指に置き換え可能で、その方が合理的なのだが、ジョージ級ギタリストを目指すなら小指でトライすべし。

## Ex-7 ストレッチを活用した巨匠流ソロ・エクササイズ

CD Track No.7 ノーマル・テンポ

(全弦半音下げチューニング)

( = )

Am

T A B

中 人 中 中 小 中 小 中 中 人 小 人 中 中 人 中 中 人 小 小

M H P S 3

T A B

中 人 中 中 小 中 小 中 中 人 小 人 中 小 中 中 人 小 小 開

## Ex-8 巨匠流のディミニッシュ活用によるソロ・エクササイズ

CD Track No.8 ノーマル・テンポ

(全弦半音下げチューニング)

( = )

Am

T A B

中 人 中 中 小 中 小 中 中 人 葉 中 中 小 中 小 小 小

M S P 3 H S 3 S

T A B

中 人 中 小 中 小 中 小 中 小 人 小 人 中 人 小 人 小 人 小

g S P 3 H S 3 S S 3 S

T A B

中 人 中 小 中 小 中 小 中 小 人 小 人 中 人 小 人 小 人 小

Am G D/F# C G/B E

T A B

中 人 中 小 中 小 中 小 中 小 人 小 人 中 人 小 人 小 人 小

Picking Tr. 1H.U U

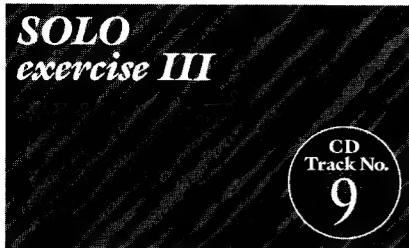
T A B

中 人 中 小 中 小 中 小 中 小 人 小 人 中 人 小 人 小 人 小

Picking Tr. 1H.U U

T A B

中 人 中 小 中 小 中 小 中 小 人 小 人 中 人 小 人 小 人 小



Ex-9は右手の指によるハーモニクスを混ぜながら、各音をピッキングしていくプレイ。例えば1音目の3弦9fは、左手は普通に押さえ、その12f上となる3弦21fのフレットの真上に人差指の先端で軽く触れながら親指でピッキングする。以降同様に、総てのポジションの12f上を右手人差指でタッチしながらピッキングするわけだ。全音完璧なハーモニクスを目指す必要はないが、ギターによってはハーモニクス・ポイントが微妙にずれていることがあるので、その辺の微調整もできればより確実性が増すだろう。ハンマリングやスライドなどを併用すると、ハーモニクスが止まって実音になってしまふので、こういった場面の1音目は予め強めにピッキングし、フィンガリングを強めに行なって音量を稼ごう。

### Ex-9 タッチ・ハーモニクス奏法を交えたソロ・エクササイズ

CD Track No.9 ノーマル・テンポ

(全弦半音下げチューニング)

Am G F/A

薬 小 中 中 人 中 人 薬 中 中 中 人 中 人 人 人 人 人 中

Am G Am

人 小 人 薬 薬 薬 人 薬 人 中 中 人



pic: William Haines

## **SOLO** *exercise IV*

CD  
Track No. 10

Ex-10の1小節目の8分3連と2小節目の6連符の頭は、それぞれアップ／アップ／ダウンのエコノミー・ピッキングでプレイする。オルタネイトでもプレイ可能だが、ニュアンスとフレーズの流れがジョージ流とは別モノになってしまう。エコノミーならではの“ひと息”で弾き切る感じが大切だ。

音は、コードを考慮すると本来B♭であるべきだが、即興味を重視するならこのままでもOK。特に6小節目の方はテンション解説も可能で(9th)、独特的な緊張感が醸し出されている。最後の2音チョーキングは、ソロのエンディングだけにピッチが重要。まずは1弦14fのF♯音の音程を確認してから、その1オクターヴ上の音程に向かって一気に1弦22fを押し上げよう。

### Ex-10 エコノミー・ピッキングが肝となるソロ・エクササイズ

CD Track No.10

ノーマル・テンポ CD Tra

### Track No.11 スロー・テンポ

(全弦半音下げチューニング)

# **SOLO** *exercise V*

**Ex-11** 前半のタッピングは、1小節1、2拍目のフレーズを3回繰り返すわけだが、左手のストレッチ・フォームは尋常ではない。最初の3音がスムーズに鳴るまで、先に進むのはお預けだ。2弦6つは薬指となっているが、中指の方が楽だと言う人は好みで決めればよいだろう。7連と記譜しているが、実際は2拍14連の感覚で2拍内に収まれば問題ないだろう。

続くタッピング＆スライドは、スライドを意識し過ぎると力みがちだ。押弦する指が弛みさえしなければよいので、通常のタッピングと同じ強さで行なうこと。4、5小節目は、B♭トライアド（3和音）のアルペジオを3オクターヴに渡って平行移動。ポジション移動時の音切れに注意だ。

### Ex-11 超難解なストレッチ・タッピング・ソロ・エクササイズ

CD Track No.12 ノーマル・テンポ CD Track No.13 スロー・テンポ

(全弦半音下げチューニング)

The musical score consists of two staves. The top staff is for a melodic instrument (likely a woodwind) and the bottom staff is for a bass instrument (likely a double bass or cello). The notation is in common time with a key signature of one sharp. Fingerings are indicated above the notes: 'H' for thumb, 'P' for index, 'S' for middle, and 'F' for the bass staff. The vocal line is written in Chinese characters (人, 染, 小, 申, 人, 小, 申, 申, 小, 人, 小, 申, 药) with corresponding fingerings above the notes. Measure numbers 7 and 12 are marked. The vocal line continues from the previous page, starting with '人' at measure 7.

Music score for 'A/C#' and 'Dm' sections. The score includes two staves: a treble staff with a key signature of one sharp and a bass staff with a key signature of one sharp. The treble staff has a dynamic marking *8va* with an arrow. The bass staff features a bass clef and a bass key signature. The vocal line includes lyrics: '人 人 人 中' (Person Person Person Middle), '人 药 人 中' (Person Medicine Person Middle), '人 小 小 小 小' (Person Small Small Small Small), and '人 中 人 中 人 中' (Person Middle Person Middle Person Middle). The bass line includes fingerings: '5 7 5 5', '12 14 12 13 12 15 15 15 15 17', and '14 15 14 15 14 15 17'. The score also includes a measure number '6' and a wavy line above the bass staff.

## **SOLO** *exercise VI*

Two circular labels are shown side-by-side. The left label contains the text 'CD Track No. 14'. The right label contains the text 'CD Track No. 15'. Both labels are in a serif font and are enclosed in thin black outlines.

Ex-12ではテクニック云々以前に、ソロを構成する際のフレーズの緩急の付け方に注目。「テクニックは、緩と急のダイナミクス=落差を大きくするためにあり！」と、このフレーズが語っている。5小節4拍目の4弦14fは、薬指のジョイントで弾いてしまいそうな音だが、ここを人差指で押さえることによって音切れなくスマーズなフレージングが可能となるわけだ。

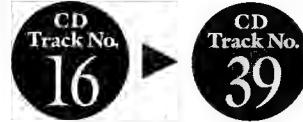
7～8小節目はコード・トーン・アルペジオの連発だが、7小節目の最初の2拍と8小節目の最初の1拍はオルタネイトでピッキングする。7小節3拍目はダウンで上昇、アップで下降する。このピッキングの使い分けによって独特のグルーヴ感を形成しているので、必ずこの方法でトライして欲しい。12小節目最後はスライド(!)によるアルペジオだ。

Ex-12 オルタネイト&エコノミー混在によるソロ・エクササイズ CD Track No.14 ノーマル・テンポ CD Track No.15 スロー・テンポ

(全弦半音下げチューニング)

Top Staff (Treble Clef):  
Key: F#m  
Time: 2/4  
Dynamic: 8va  
Bottom Staff (Bass Clef):  
Key: G  
Time: 2/4  
Fret Positions:  
Measure 11: 11, 11, 10, 14  
Measure 12: 14, 14, 14, 17  
Measure 13: 16, 16, 16, 16  
Measure 14: 16, 16, 16, 16  
Measure 15: 16, 16, 16, 16  
Measure 16: 16, 16, 16, 16

# Chapter 2



## ジョージ・リンチ流の リフ&ソロ・アプローチに 則した例題エクササイズ

Chapter 2では、巨匠ジョージ・リンチ流ならではのリフ・メイク法やフレーズ構成術を学んでもらうべく、リフ/バックング/ソロの各アプローチ・パターンを総合的に盛り込んだ例題曲を用意してみた。以下の練習素材をフルに活用してもらいたいながら、リンチ奏法のさらに深い理解と習得を目指して欲しい。

Chapter 2 (Ex-1～Ex-11) の譜例解説は付録CDのTrack No.16～39に連動しています。  
それぞれのトラック内容は以下の通りです。各自のニーズとレヴェルに合わせて譜面とリンクさせながら活用してください。

※CD音源で聴けるEx-1～Ex-11は半音下げチューニングでプレイしています。

### 各エクササイズ・フレーズのサンプル・トラック

CD Track No. 16 リフ・エクササイズ Ex-1の例題音源 (ノーマル・テンポ)	CD Track No. 23 オブリガート・エクササイズ Ex-7の例題音源 (スロー・テンポ)	CD Track No. 30 ソロ・エクササイズ Ex-9の例題音源 (上段ハーモニー・パートのみのスロー・テンポ)
CD Track No. 17 バッキング・エクササイズ Ex-2の例題音源 (ノーマル・テンポ)	CD Track No. 24 オブリガート・エクササイズ Ex-8の例題音源 (ノーマル・テンポ)	CD Track No. 31 ソロ・エクササイズ Ex-9の例題音源 (下段メイン・パートのみのスロー・テンポ)
CD Track No. 18 バッキング・エクササイズ Ex-3の例題音源 (ノーマル・テンポ)	CD Track No. 25 オブリガート・エクササイズ Ex-8の例題音源 (スロー・テンポ)	CD Track No. 32 ソロ・エクササイズ Ex-10の例題音源 (ノーマル・テンポ)
CD Track No. 19 バッキング・エクササイズ Ex-4の例題音源 (ノーマル・テンポ)	CD Track No. 26 ソロ・エクササイズ Ex-9の例題音源 (全体のノーマル・テンポ)	CD Track No. 33 ソロ・エクササイズ Ex-10の例題音源 (スロー・テンポ)
CD Track No. 20 バッキング・エクササイズ Ex-5の例題音源 (ノーマル・テンポ)	CD Track No. 27 ソロ・エクササイズ Ex-9の例題音源 (上段ハーモニー・パートのみのノーマル・テンポ)	CD Track No. 34 ソロ・エクササイズ Ex-11の例題音源 (ノーマル・テンポ)
CD Track No. 21 バッキング・エクササイズ Ex-6の例題音源 (ノーマル・テンポ)	CD Track No. 28 ソロ・エクササイズ Ex-9の例題音源 (下段メイン・パートのみのノーマル・テンポ)	CD Track No. 35 ソロ・エクササイズ Ex-11の例題音源 (スロー・テンポ)
CD Track No. 22 オブリガート・エクササイズ Ex-7の例題音源 (ノーマル・テンポ)	CD Track No. 29 ソロ・エクササイズ Ex-9の例題音源 (全体のスロー・テンポ)	

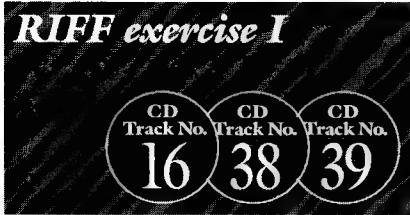
### 練習用カラオケ・トラック

CD Track No. 36 ソロ・パート (Ex-9～Ex-10) のギター・マイナス・カラオケ (スロー・テンポ)	CD Track No. 38 オール・パート (Ex-1～Ex-11) のギター・マイナス・カラオケ (スロー・テンポ)
CD Track No. 37 ソロ・パート (Ex-9～Ex-10) のギター・マイナス・カラオケ (ノーマル・テンポ)	CD Track No. 39 オール・パート (Ex-1～Ex-11) のギター・マイナス・カラオケ (ノーマル・テンポ)



F#マイナーのトニック・コードF#mを核にダイアトニック・コードを織り交ぜた比較的オーソドックスなコード進行で構成されているが、各コード内での音使いを工夫することによって、多彩な場面転換を行なっている。イントロ[B]やテーマ[C]では、F#mの5th (C#音) を半音下げ

て（C音）b5thの緊張感を出し、逆にDではルートF#に対してA#音使って、いきなりF#メジャーのコード感に展開している（前後関係からコード・ネームはマイナーとなる）。こうした部分とEのような5度進行系部分との対比がメリハリを生む、というわけだ。



Ex-1の冒頭はブレイクを挿んでのキメとなるわけだが、バンドで演奏する際には、イン・テンポではなく、ドラマーの左足やアクションをきっかけに、2小節目のキメからイン・テンポにする方がスリリングだろう。

1~4小節は、3弦の5thからb5thへの動きとトップ・ノートのF#音がポイントなので、4

~2弦をやや強めで均一にピッキングしよう。2、3小節は16分のシンコペーションを正確に行なうこと。それには2小節目の16分休符や3小節2拍目裏のシンコペーション直前の6弦開放など、オン・ビートをジャストで取ることが大切だ。2.カッコは、全体がE7のようなフィーリングで捉えよう。

### Ex-1 6弦F#音を軸に和音変化を交えた リフ・エクササイズ

CD Track No.16	ノーマル・テンポ
CD Track No.38	オール・パート(Ex-1~Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(スロー・テンポ)
CD Track No.39	オール・パート(Ex-1~Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(ノーマル・テンポ)

(全弦半音下げチューニング)

Score details:  
 - Staff 1: Treble clef, key of E major (F#), 4/4 time. It starts with a 16th-note pattern (N.C.) followed by a 16th-note休符 (休).  
 - Staff 2: Bass clef, key of F# major (F#m), 4/4 time. It starts with a 16th-note pattern (2 2 2 0 2) followed by a 16th-note休符 (休).  
 - Techniques: Picking Tr. (picking technique), M (muting), g (ghosting), 2x (double tap), and P.h. (pizzicato).  
 - Chords: A, F#m, B, E, B/D#, Bm/D.  
 - Lyrics: The lyrics are written below the tabs, corresponding to the chords and patterns. For example, '中葉中開中' (N.C.) is followed by '中葉中開中人' (休), then '人' (休), then '人入開開小葉人' (M), then '開小小中中人' (g), and finally '人入人入人入人' (2x). The bass staff has similar lyrics: '人葉開葉葉人' (2 2 2 0 2), then '人入人中開葉葉葉' (休), then '(葉開葉葉)' (休), then '葉開葉葉' (休), then '葉開葉葉' (休), and finally '人入人中' (2 2 2 2 2).



## BACKING exercise I

CD Track No. 17 CD Track No. 38 CD Track No. 39

Ex-2の1、2小節目と3、4小節目は、セッティングの異なるクリーンとクランチでプレイしている。クリーンはコンプレッサー&コーラスをオン。クランチの方はEx-1とほぼ同じ音色で、ギター側のボリュームを絞って歪みを減らし、シングルコイルP.U.のハーフトーンを使う。

3、4小節3拍目へのシンコペーションは、バ

ンドではベース&ドラムと合わせる部分なので、全員が正確な16ビートに則り、シンコペーション直前のオン・ビートを「ン」と感じながらプレイすることが大切だ。その際に、例えば、メンバー同士が声だけで練習してみると、お互いのタイム感が把握できる…こんな方法も是非お試しあれ！

### Ex-2 クリーン&歪みによる アルペジオ・バックイング・エクササイズ

CD Track No.17	ノーマル・テンポ
CD Track No.38	オール・パート(Ex-1～Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(スロー・テンポ)
CD Track No.39	オール・パート(Ex-1～Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(ノーマル・テンポ)

(全弦半音下げチューニング)

## **BACKING exercise II**

Ex-3の1小節目のアルペジオは完全な和音にするが、3小節目は順次指を浮かせて単音フレーズ気味にプレイする。2小節2拍目の裏は、ブラッシングを軽く「チャカ」と入れる感じのピッキングで単音を弾くこと。3拍目の2和音は1目一杯のアクセントでプレイしよう。3小節3

拍目のシンコペーションは、低音域での3度積み和音なので、6弦を引っ張り気味に押さえるなどによってピッチが少しでも狂うと、濁って汚い和音になってしまふ。練習途中でこの和音を長く伸ばしてみると、ピッチをチェックしながら練習しよう。

### Ex-3 低音弦アルペジオを含む バックキング・エクササイズ

CD Track No.18 ノーマル・テンポ

CD Track No.38 オール・パート(Ex-1～Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(スロー・テンポ)

CD Track No.39 オール・パート(Ex-1～Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(ノーマル・テンポ)

(全弦半音下げチューニング)

# BACKING exercise III

Ex-4は、譜面上ではシンプルなアルペジオに見えるが、不要弦からノイズが出来てしまった場合のミュートがほぼ不可能なフレーズばかりなので、ここは細心の注意が必要だ。特に1小節目は、ここから弾き始める場合にはミス・ピッキングさえ注意すればよいのだが、曲中で前のフレーズから繰りでプレイする場合には、5~

3弦の振動を確実に止めてから弾き始めないと和音が濁ってしまう。

さらに、3、4小節目はミス・ピッキングが命取りとなる。少しでも隣接弦にピックを当てると、全く違うコードに聴こえることさえあるからだ。リズムが2拍3連風にならないように、16ビート感覚をキープすることも大事だ。

### Ex-4 開放弦を多用した アルペジオ・バッキング・エクササイズ

CD Track No.19	ノーマル・テンポ
CD Track No.38	オール・パート(Ex-1～Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(スロー・テンポ)
CD Track No.39	オール・パート(Ex-1～Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(ノーマル・テンポ)

(全弦半音下げチューニング)



Ex-5の前半はオーソドックスなパワー・コード・リフなので、ブリッジ・ミュートとノン・ミュートのコードのメリハリを意識する程度で大丈夫だろう。コード部がアクセントなので、16分の連符は淡々と均一にピッキングしよう。

8小節目以降は2小節毎にフィル・インを挿んでいる。10、14小節目のフィル・インは、一

般的な指癖にはない音列なので、慣れるまでは違和感が強くミスしがちだ。これらのフレーズは、バックキングに変化を持たせるためのものなので、メインのバックキングよりも強めながら、リードの邪魔にならない強さで弾くことが大切となる。

### Ex-5 16分のタイトな刻みが肝のバックキング・エクササイズ

(全弦半音下げチューニング)

CD Track No.20	ノーマル・テンポ
CD Track No.38	オール・パート(Ex-1～Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(スロー・テンポ)
CD Track No.39	オール・パート(Ex-1～Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(ノーマル・テンポ)





Ex-6の前半は、Ex-2と同じコンプレッサー＆コーラスを掛けたクリーン・サウンドで弾く。最初の2小節は、2小節単位でクレッシェンド＆デクレッシェンドするような気持ちで強弱を付けよう。2小節目のヴィブラートは、和音で尚かつクリーンなので、かなり大袈裟に掛けないと音に搖れが現れにくい。続く3小節目

のアーム・ヴィブラートのニュアンスにも注意したいところだ。

5小節目からはEx-1と同じディストーション・サウンドでプレイする。9小節目は、パワー・コードをピッキング・ハーモニクスでピッキングし、ゆっくりとアーム・アップ。最後のキメのリズムにも注意されたし。

### Ex-6 3弦の半音下降ラインが特徴的なバックング・エクササイズ

CD Track No.21	ノーマル・テンポ
CD Track No.38	オール・パート(Ex-1～Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(スロー・テンポ)
CD Track No.39	オール・パート(Ex-1～Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(ノーマル・テンポ)

(全弦半音下げチューニング)

The musical score for Ex-6 consists of three staves: Guitars (G, B, T), Bass (B), and T-Bass (T). The key signature is F# major (one sharp). The score is divided into three sections. The first section starts with a G major chord (B, D, G) and includes fingerings like 'F#m' and 'g'. The second section starts with an F# major chord (B, D, F#) and includes fingerings like 'A/F#'. The third section starts with an A major chord (E, A, C#) and includes fingerings like 'A'. Various techniques are marked throughout, such as 'Arm.' (arm vibrato), 'M.' (Mute), and 'P.h.' (portamento). Japanese text below the staves provides additional context for the fingerings and techniques used.



Ex-7の1小節目は、2弦開放ピッキング時の不要弦ノイズに注意。3～6弦は右手で確実にミュートしておき、2弦開放ピッキング後にアーム・バーを素速く握るようにしたい。2、3小節目はアーム・リターンの連続攻撃。アーム・ダウン時の音程変化を聴こえないようにしつつリターン音のみでリズムを表現するには、アームは素速く「グッ」と押すだけにし、リターンはバネの反発力に任せる感じにすると上手くいくはず。シンクロナイズド・タイプの場合は、小指

の付け根で強く押す感じだが、ロック式トレモロなら、小指の関節や薬指の先で「チョン」と押す程度でOKだ。

Ex-8は連続ブリングによる速弾きフィル・イン。トナリティーやコード・フィーリングに完全対応させるなら、本来2弦4f(D#音)は3f(D音)であるべきだが、こうした勢い重視の速弾きでは、あえてセオリーに無頓着である方が、よりギターらしいフレーズとなる場合が多々あることを覚えておこう。

### Ex-7 細かなアーミングを絡めたオブリガート・エクササイズ

CD Track No.22	ノーマル・テンポ	CD Track No.23	スロー・テンポ
CD Track No.38	オール・パート(Ex-1～Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(スロー・テンポ)		
CD Track No.39	オール・パート(Ex-1～Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(ノーマル・テンポ)		

(全弦半音下げチューニング)

中葉人開 開 葉葉葉人 人 葉葉葉人 小人 人 人 葉人葉 葉葉人葉葉人葉葉人葉人葉 人葉

### Ex-8 連続ブリングによるオブリガート・エクササイズ

CD Track No.24	ノーマル・テンポ	CD Track No.25	スロー・テンポ
CD Track No.38	オール・パート(Ex-1～Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(スロー・テンポ)		
CD Track No.39	オール・パート(Ex-1～Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(ノーマル・テンポ)		

(全弦半音下げチューニング)

葉人開葉人開小中人小中人小葉人小葉人小中人小 中 小 小 小



Ex-9の1小節目は、トニックF#mのブローケン・コードに近く、3小節目はF#mの3rdからルートへ解決するという、共に安定感のあるフレーズだ。そこに挿まれた2小節目は、クロマチック(半音進行)・アプローチによる非常に不安定かつテンションの高いフレーズとなっている。この山と谷、緩急の使い分けこそ、ジョージ・リンチ流ならではのドラマチックなフレーズ・メイクのコツなのだ。

4小節目は、Ex-7同様のアーム・リターン・フレーズ。5小節目からのツイン・リードは、フレーズ自体の難易度は高くないものの、2本できれいにハモることが難しい。正確な6連のリズムを2小節間に渡ってキープしないと、スピードが速いだけにズレた部分が濁ってしまうのだ。自分のプレイをMTRでダビングしてチェックしてみるのが、最も効果的な練習方法となるだろう。

### Ex-9 ハーモニー・パートを含む 巨匠流速弾きソロ・エクササイズ

CD Track No.26	全体のノーマル・テンポ
CD Track No.27	上段ハーモニー・パートのみのノーマル・テンポ
CD Track No.28	下段メイン・パートのみのノーマル・テンポ
CD Track No.29	全体のスロー・テンポ
CD Track No.30	上段ハーモニー・パートのみのスロー・テンポ
CD Track No.31	下段メイン・パートのみのスロー・テンポ
CD Track No.36	ソロ・パート (Ex-9～Ex-10) のギター・マイナス・カラオケ (スロー・テンポ)
CD Track No.37	ソロ・パート (Ex-9～Ex-10) のギター・マイナス・カラオケ (ノーマル・テンポ)

(全弦半音下げチューニング)

## ***SOLO*** *exercise II*

Four circular icons, each containing a CD symbol and a track number. The first icon contains 'CD Track No. 32'. The second icon contains 'CD Track No. 33'. The third icon contains 'CD Track No. 36'. The fourth icon contains 'CD Track No. 37'.

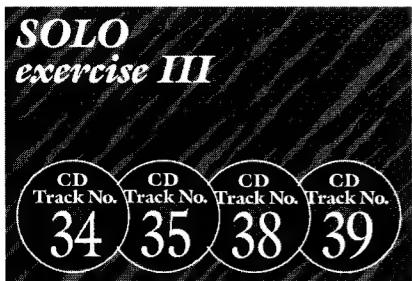
Ex-10 超ワイド・ストレッチを含む  
巨匠流速弾きソロ・エクササイズ

CD Track No.32	ノーマル・テンポ	CD Track No.33	スロー・テンポ
CD Track No.36	ソロ・パート(Ex-9～Ex-10)のギター・マイナス・カラオケ(スロー・テンポ)		
CD Track No.37	ソロ・パート(Ex-9～Ex-10)のギター・マイナス・カラオケ(ノーマル・テンポ)		

(全弦半音下げチューニング)

技もあり。

5小節目は、超ワイド・ストレッチでのレガート・フレーズ。これを攻略するためには、もうひたすらストレッチ幅を広げるトレーニングを続けてみるしかないのだが、コツをひとつだけ挙げるとすれば、6弦から5弦へ移動した時に、人差指をジョイント気味にせず、指の先端でフレット端のギリギリの位置を的確に押さえること…となる。



使用するポジションは、1弦14、16、17fと2弦17fのみで、フレーズのどの部分も決して難しくはない。にもかかわらず、曲の流れの中で正確かつきれいに弾き切るのは非常に難しいという、ジョージ流ならではの不思議なフレーズ例がEx-11のソロ。そんな難しさの要因は、上がるのか下がるのかといった目標が感じられないことと、フル・ピッキング・フレーズなのに同弦同音を2回連続で弾く部分が多いことだ。

このようなフレーズを思いつくこと、指癖として身に付けていくこと、理解不能ながら何故か格好いいこと、それらが合わさって個性となり凄さともなるわけだ。練習方法としては、1拍単位の細かいフレーズに区切り、各拍毎に順にマスターするしかないだろう。短くも巨匠味が濃厚なこのフレーズで、ジョージ流特有のグルーヴ／流れ／ニュアンスを、各自でみっちりと研究・分析しておこう。

Ex-11 人差指の高速スライド移動を絡めたソロ・エクササイズ

CD Track No.34	ノーマル・テンポ	CD Track No.35	スロー・テンポ
CD Track No.38	オール・パート(Ex-1～Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(スロー・テンポ)		
CD Track No.39	オール・パート(Ex-1～Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(ノーマル・テンポ)		

(全弦半音下げチューニング)



pic: Hideo Kojima